



<基本情報>

改組予定年度：令和8年度  
 改組内容：既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）  
 設置等組織名：理工学部 環境・エネルギー工学科(仮称)  
 入学定員：【R8新設】40名  
 所在地：兵庫県神戸市東灘区

社会における人材ニーズ

経済と環境の好循環を同時に創出し、グリーン社会を実現するためには、革新的なイノベーションをもたらす材料が不可欠であり、産学官共創による迅速な社会実装や新たな価値創出に資する材料の革新を担う人材の育成が必要

理工学部の実績

- ・「環境・資源科学」と「エネルギー科学」に学科レベルで注力してきた教育実績
- ・カーボンニュートラルに貢献するイノベーションを創出する「エネルギー変換材料研究所」の研究実績
- ・学問・研究分野を網羅的にカバーする学科が連携・融合する教育・研究体制

新設学科構想の検討体制・取組内容

新学科設置に向けて、「環境・エネルギー工学科（仮称）設置検討委員会」を設置。以下の取組をもとに大学院教育も視野に入れた「環境・エネルギー工学科設置構想」を検討。

■新学科設置構想に関する主な取組内容

- ①複数企業との事前協議
- ②大学都市神戸産官学共創プラットフォームの活用
- ③教学アドバイザー・ボード\*における協議
- ④系列校や近隣の高等学校でのヒアリング・入学意向調査
- ⑤本学に関心のある層（指定校推薦を依頼している高等学校、オープンキャンパス参加者等）へのアンケート実施と結果の検討

- ・学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成、大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜の設計
- ・研究活動の集約化による外部資金獲得強化

\*本学における教育の質向上を目指した取組を推進するために、各界で活躍している卒業生を中心に教育研究活動について提言を行う組織

「環境・エネルギー工学科」(仮称)の特徴・コンセプト

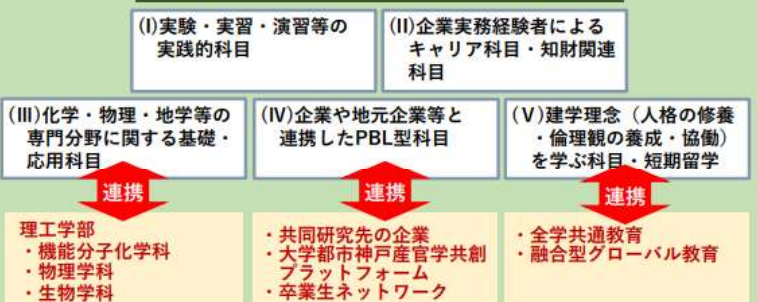
グリーン社会を実現し、経済と環境の好循環をもたらすため、理工学部における教育・研究実績の充実・発展を図り、環境・エネルギー工学分野で活躍できる人材・技術者の養成を目的とした「環境・エネルギー工学科（仮称）」を設置。

■研究実績の一例（エネルギー変換材料研究所）

**光による水素発生技術の開発**

変換効率  
 ~0.3% (2015)  
 over 3% (2021)

新設学科の教育内容・カリキュラム編成



化学・物理・地学等の科学の素養と倫理的、社会的能力を併せ持ち、マテリアル分野を中心とした環境・エネルギー工学分野で活躍できる人材・技術者を養成

●本年度までに実施済みの取組

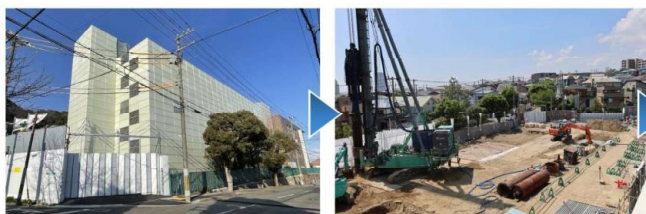
- ①環境・エネルギー工学科の設置について文部科学省に届け出  
 2025年4月文部科学省に環境・エネルギー工学科の設置届け出を行い、同年6月に受理された。
- ②女子学生の志願者及び入学者数増に向けた入学者選抜制度の設計・実施  
 国内における理工系人材の男女比率の格差を是正し女性研究者や技術者を育成することを目的として、実質的公平性の観点から女子特別推薦型の公募制推薦入学試験を設計し、その他の年内入試を含めて実施した。
- ③大学都市神戸産官学プラットフォームを活用した新設学科の周知  
 大学都市神戸産官学プラットフォームと連携して神戸三宮の会場で新学科開設を含めた本学の進化型理系構想\*\*に関する取り組みについての説明会を開催した。
- ④理工学部学科新設記念 進化型理系シンポジウムを開催  
 未来をつくる高度理系人材養成について、慶応義塾大学塾長の伊藤公平氏による基調講演と同氏を交えたパネルディスカッションを本学内の甲友会館で実施した。
- ⑤新理系棟の詳細設計が完了し、建設に向けて施工を開始  
 2027年度より利用を開始する予定の新理系棟の詳細設計と旧理系棟の解体工事が完了し、新理系棟の建設工事が2025年9月に開始された。



〔大学都市神戸産官学プラットフォーム共催 進化型理系説明会〕



〔進化型理系シンポジウム〕



〔旧理工棟解体工事〕



〔2027年竣工予定の新理系棟(イメージ図)〕



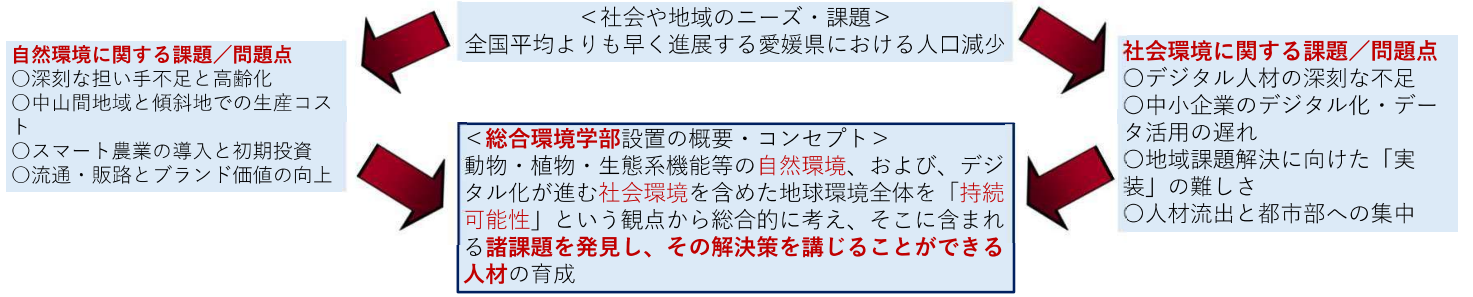
〔\*\* 進化型理系構想：環境・エネルギー工学科の新設を核とした理系3学部（理工学部、知能情報学部、フロンティアサイエンス学部）の学びを進展させ、それぞれの専門領域で、理学(基礎)+工学(応用)の教育研究を一層強化するかたちで、高度理系人材の養成に取組む構想〕

●本年度中に実施予定の取組

- ・環境・エネルギー工学科で取り組む内容について中期計画を策定し、2030年度までのロードマップを作製する。
- ・2026年度開設に向けたカリキュラムの詳細についての検討、各種規程改正等組織体制の変更にかかる事務処理を行う。



事業計画名 人間環境大学総合環境学部フィールド自然学科及び環境情報学科設置計画					
基本情報					
改組予定年度	令和7年度	設置等組織名	人間環境大学総合環境学部フィールド自然学科・環境情報学科	入学定員増数(合計数)	100名
所在地	愛媛県松山市	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	



**人間環境大学 総合環境学部**

**フィールド自然学科**  
多様な動物や植物を含む自然と人間の関わりに関する専門知識を有し、SDGsの達成に必須である自然共生社会の実現に向けて、広い視野と柔軟な思考力によって人間社会の発展と環境保全のバランスを考慮した発言と提案、そして、行動ができる人材の育成

**環境情報学科**  
ソフトウェア開発技術とデータサイエンス知識を駆使することにより、自然共生社会の実現とインターネットに結びついたデジタル産業社会の発展という二つの理念の統合に貢献できる人材の育成

+ **連携を通じた教育体制の整備**

**○愛媛県／松山市との連携**

- ・愛媛県デジタル人材育成推進会議：IT産業界、教育機関、行政機関がそれぞれの人材ニーズや課題等を共有
- ・愛媛県官民連携IT人材定着促進コンソーシアム
- ・トライアングルエヒメ2.0：愛媛県が推進するデジタル実装加速化プロジェクト
- ・愛媛県「三浦保」愛基金

**○高等学校との連携**

- ・新田高校（松山市）、松山学院（松山市）、伊予高校（伊予市）等との連携

なぜ「総合」環境学部なのか？  
立ちほだかる、これまでになかった数多くの課題  
食糧、紛争、気候変動、感染症…

「持続可能な開発目標」  
(Sustainable Development Goals: SDGs)

総合環境学部全体

**学部の特徴**

**抜群の教員／学生比**

- ・フィールド自然学科  
学生定員60名／専任教員9名
- ・環境情報学科  
学生定員40名／専任教員8名

だからこそ可能な

少数教育

演習／実習  
中心の  
カリキュラム



フィールド自然学科 **GX** ← **DX** → 環境情報学科

**フィールド自然学科の目標**

「自然と人間の共生を目指して、フィールドに飛び出そう！」

原生林、大海原、羅島… 現代社会がある地域や場所

究極の目標：人間社会の文化や産業が地域の自然環境の中でいかに持続できるかという問題の解決

- ・本学科で経験できるさまざまな野外実習の場で、実際に学んだ知識+積み重ねた体験
- ・国内の農場、漁戸内、島の農場、観光農園など
- ・農士、河川、海洋での生物多様性の保全や持続可能性への理解の深化
- ・地域農業や地産産業（醸造業や水産業）の現状と将来

**フィールド自然学科のカリキュラム**

生態系を構成する多様な生物の専門教育  
～イルカ・ニホンザル・昆虫・魚類など～

**カリキュラムの『柱』**

ICT

Web技術 データベース ソフトウェア 工学

プログラミング

ソフトウェアエンジニアに必須の4つの技術  
(デジタル時代の社会環境を形成する中核技術)

ソフトウェアエンジニアに必須の4つの技術

- ・インターネット上でさまざまな情報を提供・やり取りするために使われる「通信の技術や標準」
- ・ソフトウェア工学
- ・高信頼な大規模ソフトウェアの開発を、環境を考慮した体系的に行うための技術
- ・「データベース」を要求された結果を得るために、実行可能なプログラム（コンピュータへの指示）を生成する技術
- ・大量のデータを効率的に保存・検索・更新・管理するための技術

環境プログラミング1 授業風景

3Fおよび4F

教員／学生の距離の近さ

女子学生の確保に向けた取組み

多様な入学者選抜方法

総合推薦	AO入試1期～5期	沖縄県地域特別AO入試 <sup>1)</sup>	ふるさと愛媛特別選抜試験1期・2期	指定校推薦入試	公募制推薦入試	専門高校・総合学科推薦入試	特別奨学生選抜試験	一般入試1期	女子スカラシップ入試	一般入試2期	一般入試3期	一般入試4期	大学入学共通テスト利用入試1期	大学入学共通テスト利用入試2期	社会人選抜	外国人留学生選抜1期・2期	女子スカラシップ入試 <sup>2)</sup>
------	-----------	---------------------------	-------------------	---------	---------	---------------	-----------	--------	------------	--------	--------	--------	-----------------	-----------------	-------	---------------	--------------------------

1) 2024年度は実施されず。2) 2024年度は実施されず。



## 基本情報

改組予定年度	所在地	設置組織名	改組内容	入学定員増数（合計）
令和8年度	愛知県名古屋守山区	デザイン工学部 建築デザイン学科 情報デザイン学科	学部の新設	190名

## 「社会・地域・生活の未来をリデザインする新たな工学部の設置」

少子高齢化による技術者不足や工学分野の女子学生の少なさを背景に、政府は男女共同参画と文理横断教育を推進しています。本学はこれに応え、工学と社会科学を融合し社会課題を解決できる人材を育成するため、デザイン工学部を新設します。多様性や共生を重視した人間中心デザインを学び、地域に貢献できる実践力を育成します。建築デザイン学科と情報デザイン学科を設置し、技術を活用し実装することで課題解決に取り組む人材を養成します。



## 学科の概要

### 建築デザイン学科（入学定員：80名）

#### 養成する人材像

文化的・社会的背景を理解し、他者をいたわり思いやる優しさ、インクルーシブデザインの視点から多様な人々の生活を捉えることを基盤とし、住居、建築、インテリア、都市などの生活環境に関する工学の知識や技術と芸術的な感性を統合して、地域や社会の課題を解決しうる建築デザインを提案できるとともに、様々な分野の人々と協働しながら共生社会の実現に貢献できる人材を養成する。

#### 学びの特徴

住居、建築、インテリア、都市など多様な生活環境を対象に、「デザイン工学」の知識と技術、それに「芸術的な感性」を加え、建築デザインを提案する力を身につけます。さらに本学科では、障がいがある人や高齢者、子どもなどこれまでデザインプロセスから除外されがちな人達の視点を企画や設計に取り入れる「インクルーシブデザイン」を重視しています。



#### ● 1年次から始まる実践的なプロジェクト

4年間にわたって様々なプロジェクト活動を展開し、地域や社会に実在する問題の解決に取り組めます。実践を通して学んだことの理解を深められるのはもちろん、他者と協働するために必要なコミュニケーション力などが身につきます。

#### ● 建築・インテリア・まちづくり×デザイン

1年次は、数学など理数系の科目、デザイン手法を学ぶ科目が充実しています。建築物やプロダクトを設計する上で必要な工学や芸術の専門的な知識・スキルを養うための土台となる基礎力を着実に身につけることができます。

#### 卒業後の進路

- 住宅・建設業界の設計、施工、営業、開発や不動産業界
- インテリア業界のインテリア計画、デザイン、コーディネートや店舗設計
- 住宅設備・家具・建材業界の企画、営業、販売
- 地方自治体の住宅、まちづくり、環境保全分野
- 公務員（建築系の検査・認定業務） など



### 情報デザイン学科（入学定員：110名）

#### 養成する人材像

情報社会の理解に必要な教養と豊かな人間性を有し、情報工学ならびに数理・データサイエンス・AIの知識・技術を身につけ、社会課題の解決に向けてソフトウェアやシステムの提案、デジタルコンテンツの制作に主体的に取り組む力を育成し、修得した思考力・行動力・提案力を総合的に活用しながら、課題解決のための方策を計画し、他者と協働しながら実行することができる人材を養成する。

#### 学びの特徴

「情報」を中心に置き、情報技術、数理・データサイエンス、メディア表現、社会ソリューションの4つの領域を基礎から学びます。様々な領域の基礎力を養うことで多角的に物事を捉える視点や異なる領域の知識や技術を組み合わせる柔軟な発想力を身につけます。また、IT企業とアプリ開発をしたり、福祉の観点から自治体とディスカッションしたりと、実社会での経験を通して理解を深める学びも充実しています。



#### ● 文理融合の学びを通して社会課題の解決能力を養う

情報技術・データサイエンス・メディア表現といった情報工学の知識に加え、社会学や社会福祉学などの社会科学も横断的に学びます。文理の枠を超えた学びの相乗効果により、社会課題の解決に不可欠な広い視野や、柔軟な発想につながる想像力を育てます。

#### ● AI・データサイエンスなど情報工学を基礎から学ぶ

AI、データサイエンス、デザインに関する必修科目を設けており、1年次から情報工学を基礎から学ぶことができます。2年次以降からプログラミングやコンテンツの制作などに取り組み、学んだ知識や技術をどう生かせるか実践を通して理解を深めます。

#### 卒業後の進路

- 情報システムの設計・開発を行うシステムエンジニア
- ポスター、雑誌、Webなどを制作するデザイナー
- 映画、テレビ、CM、YouTubeなどの映像を制作する映像クリエイター
- 社会貢献活動で活躍するNPO・NGO法人職員
- 高校の情報科教員 など



## 取組内容

### 学びの環境・施設の整備（令和8年3月末完成）

※画像はイメージを含みます。

学生たちの豊かな発想力を刺激したり、独創的なアイデアを体現できることをコンセプトとし、研究や実験、ゼミ活動や制作活動などをこれまで以上に集中して取り組める環境整備を進めています。



制作活動に集中して取り組める実習スペース。デジタルファブリケーション機器も備えています。



設計やデザイン、研究に集中して取り組める実習スペース。プリンター等の設備も充実しています。



アウトドアの雰囲気を取り入れた、創造性を刺激する講義スペース。ゼミ活動等で活用できる実習室も備えています。



「デジタルファブリケーション」の実習スペース。3Dプリンターを始めとする、多くのデジタル工作機械を備えています。

### 自治体、企業等との連携の取り組み

本学部の目的の一つである「社会課題の解決」を実現するためには、自治体や企業などとの体系的・継続的な連携が不可欠です。こうした連携を通じた実践的な教育が、社会で活躍できる即戦力の育成につながると考えています。2024年度に設置した研究推進・地域連携センター主導で自治体や企業等との連携協定締結を推進し、令和7年度は3企業、2自治体との協定締結（一部予定）に至りました。

連携協定先を含む多くの企業や自治体と協議・ヒアリングを進め、2026年度から全学的に開講されるプロジェクト科目の充実や、社会が求める人材育成の実現に向けて取り組みを進めてきました。



### 理系人材の確保に向けた取り組み

#### ● 出前授業

映画・映像作成やVR、プロジェクションマッピングといった多様な専門領域を持つ教員陣を中心に、近隣の高等学校（DXハイスクール採択校を中心）向けに体験型の出前授業を実施

#### ● 学内イベント

中高生向けのワークショップを開催

事業計画名 西日本工業大学 工学部 情報マネジメント学科 設置計画					
基本情報					
改組予定年度	令和8年度	設置等組織名	工学部 情報マネジメント学科	入学定員増数(合計数)	40名
所在地	福岡県北九州市小倉北区	改組内容	既存学部における学科の新設(当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの)	入学定員減数(合計数)	40名
社会や地域の課題とニーズ	■国全体でIT人材の不足は2030年に79万人に拡大 ■企業の事務間接販売(マネジメント系)部門ではICT関連の基礎教育を受けた人材が不足 ■特に中小企業ではマネジメント系分野でDXを主導できる技術者の不足が深刻化		地域企業からは	マネジメント系部門向けITエンジニアの輩出要請	
	■本学の既存情報系学科はいずれも過去3年間入学定員を超過(平均入学定員充足率:総合システム工学科電気情報工学系117.0%、情報デザイン学科113.3%)		近隣高等学校からは	情報系学科のさらなる拡充要請	
情報マネジメント学科新設の目的	■従来本学のデジタル教育分野では、電気情報工学系でハードウェア関連技術者を、また情報デザイン学科でソフトウェア系技術者をを中心に養成 ■いずれも強い社会的ニーズがあり、高い就職率を維持(過去3年間平均就職率:電気情報工学系99.6%、情報デザイン学科99.2%)		本学の既存情報系教育資源を活用し、新たにマネジメント系科目を併せて教育する文理融合型の新学科を設置し、地域の人材ニーズに対応		

### 育成する人材像・教育内容

■育成する人材像:「企業のマネジメント系部門のDXを主導できるITエンジニア」

■教育内容

- 情報系科目:コンピュータの動作原理や通信ネットワーク技術といった基礎教育を徹底
- マネジメント系科目:職業視点のカリキュラムを設定し、卒業後企業で即戦力となる人材を育成

#### マネジメント科目

経済・経営・金融・財務・会計  
セールス・マーケティング  
人材マネジメント  
生産・品質管理

#### 演習・PBL科目

デザイン思考  
地域・企業連携PBL  
プレゼンテーション  
ファンリレーション

## 情報マネジメント学科

#### 情報系科目

RPA, AI, IoT  
ネットワーク

#### 演習・PBL科目

データサイエンス  
情報セキュリティ  
データベース  
プログラミング

### 多様な入学者の確保

- 入学者選抜については、専任教職員(アドミッション・オフィサー)のもと、既に一般選抜では「思考力・判断力・表現力等」を評価する記述式の学力検査に加え、自己エントリーシートを含めた志願者提出資料を活用した多面的・総合的な評価を実施
- 新学科においても、スポーツ特別選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜・社会人特別選抜、並びに成績優秀者に対する奨学金制度の活用等、多様な選抜を継続
- 出題科目については、教育未来創造会議の第一次提言に沿って、「自然科学系における文系科目の設定」といった入学選抜における文理横断観点からの出題科目の設定を検討
- 入学選抜時の女子枠・専門課程枠(普通科文系・商業科)の設定も検討し、女子学生の増加による学内の多様性向上と、我が国で不足する理工系女性技術者の増加にも貢献

### 連携を通じた教育体制の整備

- 多様な連携協定(近隣他大学7校、海外大学9校、企業13社、地方自治体・商工会議所等11団体)のもと、教育体制を整備・充実
- 既存学科においても取り組んでいる地域課題解決型PBLやインターシップを新学科にも取り入れ、学生の「コミュニケーション」「グループワーク」「リーダーシップ」といった社会人基礎力を向上
- 本学では既に実務経験のある教員等(全教員中34.6%)による授業科目は比較的多く、特に新設のマネジメント系科目については、近隣他大学と併せて、地域企業等から実務家教員を招聘し、より実践的な教育を実現
- 本年度新たに協定を結んだ台湾の明新科技大学は半導体学部や工学部に加え、経営学部の情報マネジメント学科やマーケティング・流通管理学科を有しており、新学科との連携の可能性を検討

## 新学科の認知度向上に向けた取組 特に入力を入れて実施、特徴があると考える取組の概要

### 高校生参加型授業「マナビバ」の開催

地域や企業とタイアップし、課題解決にチャレンジしています。大学での学びを体感できる高校生参加型のチャレンジ授業「マナビバ」を令和7年9月に開催。新学科の学びを体感いただきました。

07 女性、あの課題解決のやりかた データメロミ分析 謎解きプロジェクト

1. RPA講座

2. データ可視化講座

3. データ分析講座

4. 成果発表

### 地元企業とITに関するシンポジウムを開催

ITに関する企業の課題をテーマに令和7年5月23日、新学科誕生記念シンポジウムを開催し、高校教員の方や地元企業の方など多くの方にご参加いただきました。

西日本工業大学の新学科「情報マネジメント学科」の構想とITに関する企業の課題

### 令和8年度 地域課題探求型PBLの始動

令和8年度の第1期生は、「Pre-PBL」と称して、演習PBL科目が開始される前に有志学生による地域課題探求型PBLを実施予定です。また、このPBLと高校生参加型授業「マナビバ」を組み合わせることで、「高大接続型授業」を展開します。受講した高校生が「大学での社会課題に対する学び」を体験し、本学入学後の将来像を描けるよう支援していきます。スローガン「かけあわせると、未来ができる」

かけあわせると、未来ができる。

今年キャンパスに誕生 情報マネジメント学科 2025年4月開校

<基本情報>

改組予定年度：令和7年度  
 改組内容：学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）  
 設置等組織名：工学部  
 入学定員：【R7新設】100名  
 所在地：愛知県半田市東見町26-2

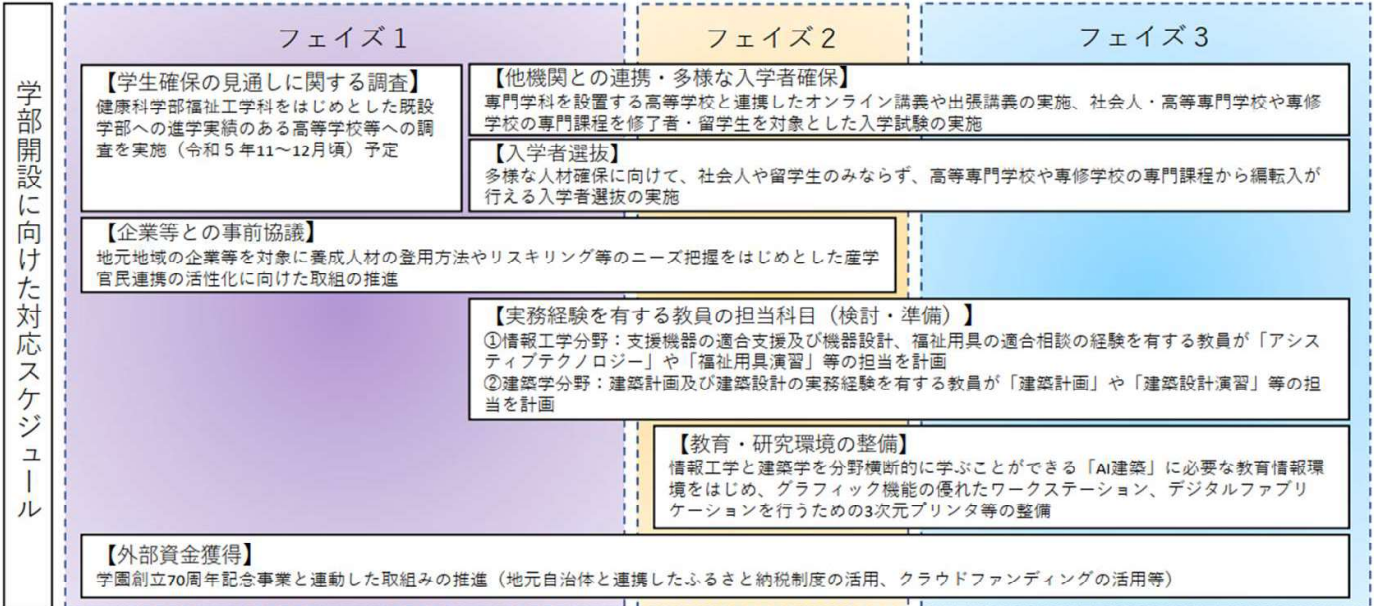


<コンセプト>

工学を主体とした学際的アプローチにより、一人ひとりの多様な幸せ（well-being）が実現できる福祉社会の構築に貢献する。

<特長>

「ふくしの総合大学」として、工学分野の中で情報工学、建築学を中心に、年齢や障害の有無を問わず、誰もが自立した人生を全うできる技術開発など、超高齢社会において必要とされる技術を開発できる人材の育成に取り組む。



## 令和7年度実施した特徴のある取組

### 近隣企業・地域・高校・自治体との連携

1) 地域・教育連携シンポジウムの実施

創業天保8年の伊東合資本蔵にて地域住民や大学生、高校生、大学教員、高校教員、行政職員、教育連携企業関係者などと地域の歴史・文化を背景に、新設工学部へ期待することについて考えるシンポジウムおよび情報交換会を開催。



2) 「総合的な探求の時間」の実施

半田東高校3年生の「総合的な探求の時間」にて、「建築が社会を変える」、「AIを活用した社会課題の解決」などのテーマで本学教員が講義を実施した。授業後のアンケートでは面白かった（46.15%）、とちらかという面白かった（53.85%）と好評だった。



3) 近隣企業と工学部との研究・教育に係る協定の締結

JFEスチール株式会社との研究・教育に係る連携協定を締結し、学生の学修環境を充実させた。現在、正課授業でのフィールドワークや卒業研究等の研究・教育連携を実施している。



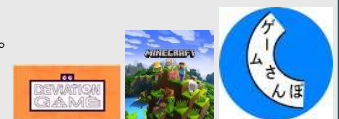
### 中学・高等学校 数学教員との教育連携研修会の実施

加速的に進化を続ける「生成AI」や「AI型教材」を活用した数学・情報教育の新たな可能性について、本学教員（工学部・経済学部）7名と中学・高校の教員11名で研修会を実施した。スマホでNotebook LMの操作を体験する等最新のソフトウェアについて理解を深めた。生成AIを教育で活用している各々の状況報告や指導方針についての相談など、活発な意見交換を行った。研修会の後は、本学工学部の施設見学を行った。



### 広報活動

「人によって世界の見え方は大きく異なる」という視点を発信するシリーズ企画「ゲームさんぼ」とのコラボレーションイベントを実施予定。本イベントでは、「マインクラフト」や「デヴィエーションゲーム」を題材に、教員が専門領域の観点からゲームを解説することで、「情報工学」や「建築学」への理解を深め、本学工学部の学びの特徴や工学部開設に関する認知向上を図る。なお、公開収録は2026年3月のオープンキャンパスにて実施し、後日YouTube等での配信を予定する。



※引用：<https://deviationgame.notion.site/press-kit-ja>  
 ※引用：<https://www.minecraft.net/ja-jp>



**【学部改組の特色・コンセプト】**  
データを通じた価値創出に対する社会的ニーズの高まりを受け、ビジネスとデータサイエンスの両方の知識を備えた人材の育成を目指し、実践志向のデータサイエンス教育を掲げる学部を新設

**情報技術を活用する全ての組織**    **ベンチャー企業**    **教育・研究機関**

経営学・経済学・工学    高度な情報技術の活用    ビジネスとデータサイエンスの両方に関する知識とスキルを備えた人材の育成

高度な情報技術の活用    経営学・経済学・工学    ビジネスとデータサイエンスの両方に関する知識とスキルを備えた人材の育成

経営学・経済学・工学    高度な情報技術の活用    ビジネスとデータサイエンスの両方に関する知識とスキルを備えた人材の育成

**「学」の進化**  
① ビジネス    ② データサイエンス    ③ 人間力

**要成する力**  
① 意思決定に打ち勝ち得るビジネス力  
② 能力の理となるデータサイエンス力  
③ 社会生活で必要となる人間力

**【教育課程の特色・他大学との差別化ポイント】**  
・ビジネスとデータサイエンスの両方に関する知識とスキルを備えた人材の育成  
・実践志向のデータサイエンス教育を掲げる学部を新設  
・高度な情報技術の活用  
・経営学・経済学・工学  
・ビジネスとデータサイエンスの両方に関する知識とスキルを備えた人材の育成

**【卒業生インタビュー】**  
「データサイエンスの知識とスキルを備えた人材の育成」



**＜基本情報＞**  
新設年度：令和7年度（2025年度）  
設置内容：新設学部  
設置学部：システム理工学部 グリーンエレクトロニクス工学科  
入学定員：【令和7年度】350名  
所在地：大阪府大阪市

**＜学部概要＞**  
学部年度：令和7年度（2025年度）  
設置内容：新設学部  
設置学部：システム理工学部 グリーンエレクトロニクス工学科  
入学定員：62名（仮定）  
所在地：大阪府大阪市

**＜教育研究体制＞**  
・AIならびにIoTを中心とする最新の情報通信技術を用いた、半導体技術を中心とするエレクトロニクス分野の立場から、環境問題に挑戦  
・企業と大学や研究機関などが連携し、共同で研究開発や実践的な教育プログラムを行うことで、最新の情報通信技術の発展に資する人材育成に必要となる人材の育成

**＜海外との連携＞**  
・半導体関連に関する教育研究においては海外における教育研究との連携を推進  
・企業との連携を推進し、共同で研究開発や実践的な教育プログラムを行うことで、最新の情報通信技術の発展に資する人材育成に必要となる人材の育成

**＜外部資金の獲得＞**  
・U・R Aおよび関係機関からの助成金の獲得  
・企業との連携を推進し、共同で研究開発や実践的な教育プログラムを行うことで、最新の情報通信技術の発展に資する人材育成に必要となる人材の育成

**＜多様な入試制度＞**  
・多様な入試制度  
・企業との連携を推進し、共同で研究開発や実践的な教育プログラムを行うことで、最新の情報通信技術の発展に資する人材育成に必要となる人材の育成

**＜AIならびにIoTを中心とする最新の情報通信技術を用いた、半導体技術を中心とするエレクトロニクス分野の立場から、環境問題に挑戦＞**

# ビジネスデータサイエンス学部

## 新たな価値を創造する データサイエンティストを育成

ビジネスとデータサイエンスを結びつけ、イノベーションを創造する人材の育成をめざし、実践志向のデータサイエンス教育を展開します。

本学部では、ビジネスとデータサイエンスの両者を体系的に学び、実際の企業などの「生きたデータ」を用いた実践的なスキルと考動力（自ら考え、行動する力）を養成します。新時代において、混迷を突破し、リードできる人材を育成します。

**学びの特色**

少人数の枠にとらわれないきめ細やかな教育  
少人数の枠にとらわれないきめ細やかな教育（ゼミなど）でビジネスとデータサイエンス双方の基礎知識を習得  
高度な情報技術の活用  
実践志向のデータサイエンス教育

**アクティブラーニング**  
企業と連携した実践的な教育プログラム

**ビジネスとデータサイエンスの両方に関する知識とスキルを備えた人材の育成**

**育てたい人物像**

データから課題を読み解き、社会で即戦力となる人材育成を  
実践志向のデータサイエンス教育

「データサイエンスの知識とスキルを備えた人材の育成」

**教育を支える教員体制**  
専門分野の理論に精通×実践で手を動かせる  
アクティブラーニングや企業連携の豊富な経験、現役のデータサイエンティスト、ベンチャー企業での設立経験

**【企業アンケートより】**  
ビジネスデータサイエンス学部の卒業生を採用したいと思いませんか？  
(回答企業 1,146社)

**「思う」** (1,015社)

**88.6%**

トランスコスモス株式会社  
阪急阪神ホールディングス株式会社  
JCSC  
松田総合法律事務所 MATSUDA & PARTNERS  
りそなホールディングス

# システム理工学部グリーンエレクトロニクス工学科

関西大学システム理工学部では、グリーンエレクトロニクス工学科を開設するにあたり、特に4つの取組（人事・カリキュラム・施設・広報）について作業部会を設置し、検討を行った。

**01. 人事案件検討作業部会** **完了**  
新学科に着任する新規採用人事及び既存の学科からの移籍人事について検討を行い、新規採用者6名、既存学科移籍者4名の10名体制で設置。

**02. カリキュラム案件検討作業部会** **完了**  
4カテゴリーを学ぶカリキュラムに加え、充実した実践・実習、PBL（プロジェクト学習）科目を多発掘。産学連携や海外大学との共同研究に取り組める科目も開設。

**03. 施設案件検討作業部会** **進行中**  
最大の特徴である「グリーンルーム」の建設が進行中。研究用途だけでなく、教育目的の実験実習を通じて、実際の研究施設を体験できる機会として提供。

**04. 広報案件検討作業部会** **進行中**  
フライヤーだけでなく新学科イメージ動画を制作し、ホームページやオープンキャンパス等で広く周知。9月からは新学科の入学試験公募も開始。

**グリーン&デジタル 両立の未来を創る!**

**Green Electronics**

**グリーンエレクトロニクス工学科**

「半導体デバイス（物）」「環境」「エネルギー」「AI」の4つのキーワードを軸に、最先端の技術を用いた研究開発を推進し、社会課題の解決に貢献する人材を育成します。

**学びの進め方**

1年次：基礎知識の習得  
2年次：専門知識の習得  
3年次：実践的な学習  
4年次：卒業研究

**あなたは、身近なスマートフォンのグリーンエレクトロニクスで活躍するの？**

**1. インフォメーション**  
スマートフォン、IoTデバイスなど、身近なスマートフォンのグリーンエレクトロニクスで活躍するの？

**2. グリーン集積回路**  
スマートフォン、IoTデバイスなど、身近なスマートフォンのグリーンエレクトロニクスで活躍するの？

**3. マテリアルズ・インフォマティクス**  
スマートフォン、IoTデバイスなど、身近なスマートフォンのグリーンエレクトロニクスで活躍するの？

**4. エナジーハーベスティング**  
スマートフォン、IoTデバイスなど、身近なスマートフォンのグリーンエレクトロニクスで活躍するの？

**2025年9月～ 募集開始!**

**【2026年度入試 募集入試種目】**  
AO入試・公募推薦入試  
女子特別入試・留学生入試  
一般入試・共通テスト利用入試

※2027年度入試以降、理工学部で実施するすべての入試で募集

**【広報展開】**  
・Youtubeで新学科イメージ動画配信  
・システム理工学部ホームページおよび入試情報サイト上にて特設ページを展開  
・Youtube1    Youtube2

**最先端の分野で活躍する卒業生**

「もっと快適に便利に暮らすための仕組みを 膨大なデータから創りだすのが私たちの仕事です」

Q: ビジネスデータサイエンスってどういうものですか?  
A: 例えば、皆さんにもっと身近なスマートフォンアプリも、ビジネスデータサイエンスによって開発されています。ユーザー一人ひとりの行動履歴や関心事に基づいて、興味があるような動画を個別に勧めてくれる仕組みになっています。ちなみに私はLINEアプリで他のチームと協力しながら、オンラインショッピングの顧客行動データの解析などを行っています。

**卒業生 Interview**

「グリーンエレクトロニクス人材のニーズは幅広い分野で、とても多い!」

「半導体技術を中心とするエレクトロニクス分野の立場から、環境問題に挑戦」



## 事業の概要

- 改組年度：令和6年度
- 改組内容：学部の新設
- 設置等組織名：工学部工学科
- 入学定員：【R6新設】100名
- 所在地：千葉県柏市

- 新設や改組の特徴・コンセプト
- プログラミングやデータサイエンス等の能力、デザイン思考に基づく課題解決型思考力・実行力と倫理的規範を持つ人材を育成
  - 業務・ビジネスモデルのIT化、DX化の推進、さらにITの非専門家とも円滑にコミュニケーションできるといった社会のニーズに対応できる人材

- 改組後の教育内容
- 数学系科目、ゼミ系科目、社会課題系科目を積み上げ、
  - 専門科目としては、情報システム系科目、ロボティクス系科目、プロジェクト推進系科目を展開

## 提案概要と成果

- 学生確保の状況（申請要件②）  
十分な学生確保の見通しを備えた計画  
→入学定員100名を超える150名の入学希望者を確保

- 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえた学修目標の具体化・体系的な教育カリキュラムの編成・適切な入学者選抜（申請要件③）

- 業務・ビジネスモデルのIT化、DX化の推進、ITの非専門家とも円滑にコミュニケーションできるといった社会のニーズに対応できるよう、プログラミングやデータサイエンス等の能力、デザイン思考に基づく課題解決型思考力・実行力と倫理的規範を育てる学修目標とカリキュラムを実施。専門科目として、情報システム系科目、ロボティクス系科目、プロジェクト推進系科目を展開する。
- 社会課題に対する感度や、アイデア創出への取り組み姿勢等を考慮した入学者選抜を実施する予定である。

- 自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施・多様な入学者の確保に向けた取組を行う（申請要件⑫）

- 国立研究機関等と連携してデザイン思考に関する新たな教材・教授法の開発を実施中。
- 同様に農業DXを題材として課題解決教育の準備を進める自治体や地域密着型NPOと街作りを題材として教育を実施（デザイン思考の一部）

- 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備（申請要件④）

- 工学部の校舎を新設。最先端のネットワーク環境、ハイフレックス環境、ドローンやロボット等の実験環境等を整備
- 学術的な業績に加え、民間企業での勤務経験豊富な教員を含む教育体制を構築
- エドテック（学生の成長を多面的にデータ化し、継続的に教育等を改善する技術）により効果を継続的・確実に上げる仕組みを整備

- 実務経験のある教員等による授業科目を配置（申請要件⑤）

- 工学部の専任教員は教授10名のうち4名、准教授6名のうち1名が、民間企業でのシステム開発や公的研究機関での研究開発等に就事していた役員・管理職経験者や自ら起業した企業の経営者等の実務経験を持つ教員。
- 「システム開発の基礎」「データベース」「ソフトウェア開発の実際」といったシステム系科目や「ロボティクス基礎」「社会ロボティクス」といった実践的な科目を担当。

- 地域における企業等と設置構想に関する事前協議（申請内容⑦）

- 企業との協議は、情報、生活、IT分野の上場企業や大学周辺の地元企業とこれからの企業に必要なIT人材について協議（例えば、LIFULL、凸版印刷、NEC、SOLIZE、ソフトバンク、LocationMind・HyperCube・IGS（スタートアップ）、関東鉄道、長大など）
- 地方自治体とも同様に協議し、同時に連携協定を締結（締結中を含む） 柏市・白井市（千葉県）、天塩町（北海道）、潮来市（茨城県）、石岡市（茨城県）、平戸市（長崎県）

- 寄附金、研究費等の外部資金の獲得について、フェーズ3の助成期間終了時まで、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に2.5%を上乗せした水準以上とする（申請内容⑪）

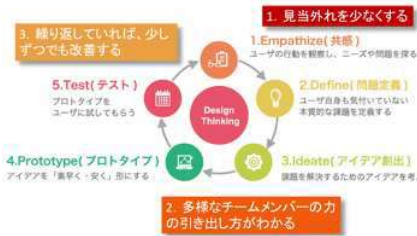
- 定期的に、地域企業・自治体の要望と工学部の教育や研究内容とのマッチング会を行い、産学連携の教育・研究機会を創出。
- また、協力して研究開発予算の獲得を実施。工学部だけで、すでに年間5,000万円以上の資金を獲得。申請時点の平均に2.5%（約1,900万円）上乗せした水準を大きく凌駕

## 特色ある取組



プロジェクトベースの教育成果を東京ゲームショー2025に出展

### デザイン思考 (Design Thinking)とは？



デザイン思考による課題解決教育



デザイン思考によるプロトタイプを実ユーザーを招待して披露（実践教育）



360度評価データと、学修・出席状況を組み合わせた総合診断等を試行中



IT（システム工学）とロボティクス一体型カリキュラム



国際マップソンなどの参加で鍛えた技術とスキルで実際の災害対応に貢献する経験を蓄積中



基本情報

改組予定年度	令和6年度
改組内容	学部の新設
設置等組織名	情報科学部情報科学科
入学定員	【R6新設】100名
所在地	山口県周南市



新設や改組の特徴・コンセプト

ビッグデータに対して付加価値の創造を担う有為なDX人材（「3本の矢」を身に付けた人材）を養成

- ①データサイエンスプログラム : 数値モデル、シミュレーション、AI、ビッグデータ分析などの手法を学ぶことで、自然や社会に存在する膨大なデータから真理やビジネスに活用できる知見を引き出す能力を習得し、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材を養成
- ②情報エンジニアリングプログラム : 情報システム、情報ネットワーク、情報セキュリティ、IoTなどの高度な情報技術を学ぶことで地域社会と地域産業の高度なICT化をリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材を養成
- ③ビジネスアナリティクスプログラム : ビッグデータを集め分析することで現状を把握し、未来を予測した計画をたて、経験や勘に頼らないビジネスを展開する能力を習得し、DXに基づいて地域社会と地域産業のイノベーションをリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展をデザインする人材を養成

改組後の教育内容

- ①3つのプログラムから複数のプログラムを選択することで予測困難な時代を生き抜くための複合的な力を修得
- ②データサイエンティストとしての実務経験豊富な専任教員や現役のフロントランナーである専任教員による授業により、実社会に必要な情報科学の知識・技術を修得
- ③周南地域の産業と連携した教育によって、地域創生の原動力となる力を養うことが可能
- ④フューチャー制によって1週間あたりの授業科目数が少なくなり集中した学びが可能
- ⑤3年次第2クォーターには選抜に対応した授業のみとすることで長期インターンシップや海外留学、あるいはボランティア活動などの経験を積むことを奨励することが可能
- ⑥3つのオムニバース型PBL科目によって、データ取得、データ加工・クレンジング、データ分析、評価、ビジネス・実社会への実装を検討までを実践
- ⑦高度にe-learningを導入した基礎的な英語教育および、世界の最先端に通じるための実践的な専門英語教育

特筆すべき内容と評価された点

留学者を推進するために科目配置を工夫するとともに、海外インターンシップを行う点を評価  
 (情報科学部は3年次第2クォーターに、長期インターンシップや海外留学、ボランティア活動を推奨するために必修科目を配置せず、配当科目はすべてハイブリッド講義あるいは遠隔講義とし、研修先や海外からでも受講できる体制を整える。)

申請要件②～⑤、⑦、⑪、⑫の内容

<p><b>申請要件②</b> 令和4年10月に山口県及び広島県に所在する高等学校の2年生（15,783名）に対し、周南公立大学情報科学部改組構想についてのアンケート調査を実施し、情報科学部の進学意向は、「受験したい」が910人、「入学したい」が157人、「入学するか検討したい」が746人となっている。進学意向の回答者に対して入学したいが157名となり、入学定員の1.57倍という結果を得た。</p>	<p><b>申請要件④</b> 情報科学部が入る11号館（5階建て、延べ床面積約4,351㎡）は、令和4年3月に大規模改修工事が終了し、200名以上収容可能な大講義室1室、80名以上収容可能な実習室4室、40名以上収容可能な中講義室4室、20名以上収容可能な小実習室2室、ゼミ室3室を整備し、各講義室、実習室を効果的に使用することで、教育研究上支障なく使用することができる。また、情報科学部設置に伴い、令和5（2023）年度内に全校舎のネットワーク設備を再構築し、全校舎でオンライン授業やオンデマンド授業が快適に行えるよう整備する計画である。</p>	<p><b>申請要件⑦</b> 周南市に本社・本店を置く地域の企業とDXの推進について、人材育成の可能性を見出すための事前協議を令和5年度中に行い、フェーズ2の対象期間となる令和6（2024）年4月以降、各企業と連携したPBL教育を行えるよう準備を進める。</p>
<p><b>申請要件③</b> 情報科学の基本的な知識・技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置し、2年次以降については各プログラム別に科目を配置する。なお、このようなカリキュラムに対応できる人材を確保するため、情報科学部では、アドミッション・ポリシーに基づき、大学入学共通テスト及び本学独自試験を用いて、高等学校卒業程度の基礎学力、及び、論理力に基づき一定の高さを満たす力を有しているかを確認する一般選抜、個別学力検査で多様で優秀な学生を確保する学校推薦型選抜を実施する予定である。</p>	<p><b>申請要件⑤</b> データサイエンティストとして実際に現場で活躍した経験のある実務家を専任教員として配置しており、実務経験に基づいたより実践的な教育を実施する。また、企業や行政においてAIやデータを実装すること、地域企業におけるDX業務やデータ活用の実務家ゲストスピーカーとして紹介してもらう講義を実施する。</p>	<p><b>申請要件⑪</b> 外部資金獲得額の申請時点の平均は20,909千円であるが、フェーズ3の助成期間終了時点で40,000千円を目指す計画である。</p>
		<p><b>申請要件⑫</b> 完成年度以降に向けて近隣の高等教育機関と連携し、他大学の専門科目を受講することで卒業単位の一部を認定することにより、将来多様な領域で活躍するきっかけを作る計画である。また、多様な入学者の確保に向けた取組については、周南地域の高校と高大接続・連携を強化するために、高校生データ分析キャンプ等を実施し、適切なデータ活用ができる人材を育成する。さらに、社会人に対しては、スキルアップにつながるテーマ・講義を用意し、修了者に対しては履修証明プログラムを発行することで、社会人の学び直し、編入選抜に繋げる予定である。</p>

特に力を入れて実施した取組や特徴がある取組の概要

【令和7年度】

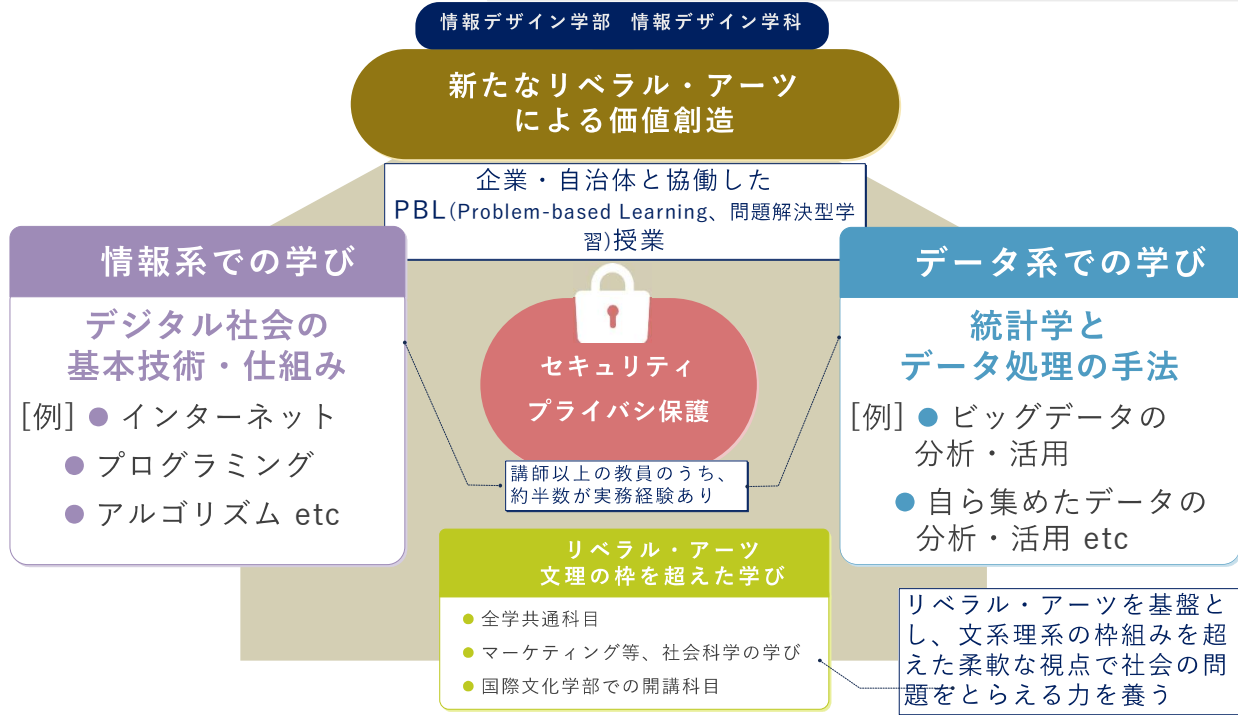
- データサイエンティストの実務家を教員に招聘し、実践的な教育プログラムを構築。企業や地域のDX事例を講義に取り入れ、地域貢献にも繋がる人材育成を目指す。
- e-learningを導入した高度な英語教育および、実践的な専門英語教育の科目「実践英語（AI）」「実践英語（数学）」を開講した。
- 来年度開始予定の専門ゼミⅠ・Ⅱについて、各教員の研究テーマ・教育内容を可視化し、学生アンケートと個別面談を組み合わせた配属設計を実施した。専門ゼミへの企業合同ゼミ形式の導入を検討し、複数の地域企業と協議を進めた。これにより、理論と実務を接続した実践的教育の実装を目指す。
- 高校での模擬講義、教員研修、社会人向けリスクリング（マナビDX）展開準備を進め、大学の教育資源を地域に還元する体制を構築している。
- 3年次第2クォーターに、長期インターンシップや海外留学、ボランティア活動を推奨するために必修科目を配置せず、配当科目はすべてハイブリッド講義あるいは遠隔講義とし、研修先や海外からでも受講できる体制を整える。
- 海外留学先として東南アジア（タイ、インドネシア、カンボジア、マレーシアなど）、アジア（韓国、中国、台湾など）の大学と国際交流協定についても検討を進め、1週間～2か月程度の海外インターンシップ等の検討を進める。
- 地域DXを加速させるため、地元企業との共同研究を継続・発展させ、人員配置最適化、物流・配送最適化、購買データ分析、デジタルマーケティングなど、地域課題解決型DX研究を推進した。



<基本情報>

改組予定年度：令和6年度  
 改組内容：学部の新設  
 設置等組織名：情報デザイン学部情報デザイン学科  
 入学定員：【R6新設】100名(90名に変更)  
 所在地：岡山県岡山市

ノートルダム清心女子大学は、リベラル・アーツ・カレッジとして真なる自由人を育成することによって、社会に貢献する人材を輩出してきました。そして、社会経済の進展と人材への要請をくみ取り、情報系とデータサイエンス系を有機的に結合した学部である情報デザイン学部情報デザイン学科を設立することで、新たなリベラル・アーツによる価値創造を可能とする人材育成を目指します。



高大連携 DXハイスクール支援

情報デザイン学部：カリキュラム

岡山県立総社南高校  
アンケート調査出張講義



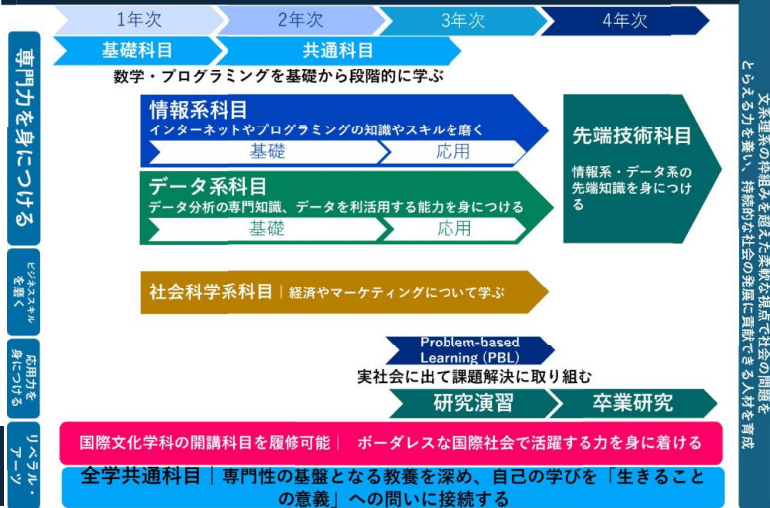
[https://www.instagram.com/sojaminami\\_official/p/DOaslGEYoF/](https://www.instagram.com/sojaminami_official/p/DOaslGEYoF/)

岡山県立岡山一宮高校  
探究学習交流会へ参加



<https://www.itinomiy.okayama-c.ed.jp/blog/>

他 岡山県立玉野光南高校, 2校



はじめての「がっかい」

研究成果4件を英語で学会発表 (2025.9)

電子情報通信学会ソサイエティ大会の一環として開催されたGlobal Net Workshop 2025 (GNW2025) に2年生の4名が参加し、各自1件ずつ英語でのポスター発表を実施、それぞれ空間ディスプレイシステムの構築や幼稚園での実地試験の実施を報告した。積極的に研究内容の説明と議論。



PBL 産学連携

● PBL (Problem Based Learning)

- 企業が直面する課題を学修課題に
- 産業界との連携を開始
  - 岡山県の代表的な企業
  - データ共有・システム要件定義



● プレPBL (2025年度～)

- 本格的PBL開始前の準備
- 企業見学会・訪問





事業計画名 平成国際大学 情報デザイン学部設置計画

基本情報

改組予定年度	令和8年度	設置等組織名	情報連携学部	入学定員増数(合計数)	100名
所在地	埼玉県加須市	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	100名

<社会や地域のニーズ・課題>

- ◆ 少子高齢化のなか人材不足の解消が喫緊の課題となっている。開設する情報連携学部では数理・データサイエンス・AIの知識・技能を養成し、DXを通じて地域社会・企業等が直面する課題を実践的に解決できる人材を育成する
- ◆ 地元埼玉県の農業振興や高齢者の健康支援といった地域の課題、自然環境保護や食糧問題、そして進みつつあるアジアの高齢化への対応といった国際社会の課題にフォーカスしGX(グリーン・トランスフォーメーション)をも視野に入れた教育を実践する

<連携を通じた教育体制の整備>

- ◆ 多様な企業との連携を図るなかでインターンシップを充実させるとともに、産業界が抱えるさまざまな課題に関して学生の認識を深める。情報技術関連の授業で得たスキルをさらに磨き、実社会の技術にふさわせるインターンシップ制度の構築
- ◆ これら企業をはじめとする連携企業には非常勤講師として授業を担当する社員の派遣を依頼
- ◆ 連携企業とは「フォーラム」を構築し、インターンシップのコンテンツを検討するほか、カリキュラム全体について意見交換できる体制を整える
- ◆ 学術交流協定等を締結している台湾の諸大学との関係を維持強化し、中国、東南アジアを中心とした大学との協力関係を構築

<教育内容・育成する人材像>

数理・データサイエンス・AIの知識・技能を活用し、DXを通じて地域社会・企業等が直面する課題を実践的に解決できる人材を育成する。

- ◆ 数学・統計学を含む工学および自然科学の基礎を学修するとともに、経済社会の基礎を構成する社会科学や異文化理解につながる人文科学の基礎を学修
- ◆ 学生の志向するキャリアの方向性にあわせて、農林水産業や環境関連産業を中心とする幅広い選択分野からなるインターンシップ制度を導入
- ◆ 最終年次には学生を各研究室に配属し、少人数の研究活動を通じて専門性の高い人材育成
- ◆ 希望する学生には中長期の海外交換留学の機会を設け、国際理解を促進させる

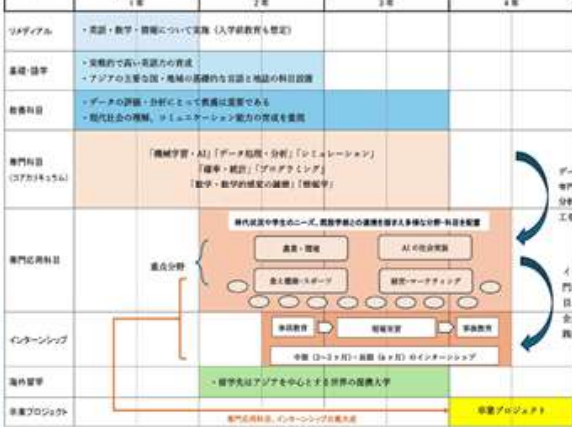
<多様な入学者の確保>

- 入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定⇒多様な学生確保
- ◆ アドミッション・ポリシーに基づき教科・科目を設定
  - ◆ 面接試験の実施、調査書の記載事項を評価、また資格試験の取得を評価
  - ◆ 「総合型選抜」における女子枠の設定。また、女子高校に指定校推薦枠を設定し優秀な女子学生の確保
  - ◆ 系列高等学校や高大連携協定高校での模擬授業を実施し、生徒の本学部への興味関心を醸成
  - ◆ 外国人留学生・社会経験を有する者の積極的な受け入れ

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

情報連携学部では、数理・データサイエンス・AIの知識・技能を養成し、DXを通じて地域社会・企業等が直面する課題を実践的に解決できる人材を育成する。  
 そのために、カリキュラムにおいてインターンシップを重視し、現場体験を通じた能力向上を図る。また、単なる就業体験を超えて産業界の課題を学生自身が発見できるよう、経験豊富な基幹教員による指導・サポートを適切に科目を配置していくことで実現していく。特に連携する企業の協力を得て、最新の技術について学べるよう環境を整えていく。また、重点分野は「農業・環境」、「食と健康・スポーツ」、「経営・マーケティング」、「AIの社会実装」とし、高学年次のPBL(Project Based Learning)を通して地域の課題から国際的な課題まで多様な問題群を設定して実践的教育にあたる。学生の自由な発想を重視しつつ、デジタル技術やデータサイエンスを駆使して解決策を模索する教育を展開する。

【カリキュラムイメージ】



データ系の教員と各分野を専門とする教員が連携して分析型データの選定や加工を行う。  
 インターンシップ先は、専門応用で選択した分野・科目と関連の深い業務内容の企業等とし、課題解決の実践的な能力を鍛える。

令和7年度取組 : 高校連携と開学準備

高校連携

情報デザイン学部の内容説明の一環として、出前授業（模擬授業）を実施。また、情報教育研究会等を通じて、情報科教員との情報連携を推進

模擬授業

講座例

- ・プログラミングの威力 ～日常をハック | AIは錯覚する? ～
- ・データサイエンスのすゝめ
- ・「問い」のデザインからデータの世界を覗く90分～
- ・データでわかる農業・森林・昆虫の世界

実施校

秀明英光高等学校、埼玉県立北本高等学校、埼玉県立杉戸高等学校、柳ヶ浦高等学校、明德義塾高等学校 など

高等学校教員との情報連携

- ・高等学校教員向け新学部説明会
- ・埼玉県高等学校情報教育研究会 研究発表会
- ・埼玉県立深谷商業高等学校教員向研修実施

系列高校との連携

- ・系列校向 新学部Open Campus
- ・系列校特別入試の実施

インターンシップ

運営計画準備、企業連携

運営計画準備

- ・事前教育プログラム策定  
コンプライアンスやビジネスマナー等の習得を目的とした演習計画
- ・管理運営体制検討  
インターンシップ先選定からインターンシップ終了後の事後学修までを管理運営する体制構築の検討

企業連携

- ・埼玉県中小企業同友会城北支部月例会参加
- ・企業個別訪問

新学部開学準備

R8年度からの開講に向けた事前準備の開始

Learning Activity Design

【授業運営計画の詳細化】

- 基礎的学力の Remedial と Enhancement
- ・学力差に対応した Academic Foundation (初年次基盤形成)
- ・入学前学修 (特に数学能力)
- ・留学生日本語能力
- ・Skill Gap Bridging
- ・FOC (Freshman Orientation Camp)

【学部コンセプトを体現する設備の事前導入】  
空間再現ディスプレイや KAT VR の導入



入試

(12/1時点 のべ350人が受験)

- ・ 9月16日 系列校入試
- ・ 10月18日 総合型選抜
- ・ 11月15日 総合型選抜+学校推薦型
- ・ 12月13日 総合型選抜+学校推薦型
- ・ 2月 1日 総合型選抜+一般選抜
- ・ 2月20日 総合型選抜+一般選抜
- ・ 3月13日 一般選抜

新校舎

- ・ 令和7年11月 新校舎地鎮祭挙行
- ・ 令和8年7月 (予定) 新校舎竣工
- ・ 令和8年8月 (予定) 機器備品設置



**高知工科大学**  
KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

理系の大学として1997年に開学した本学は、いち早く文系の教育研究環境を整備し幅広い人材の育成を行ってきた。今回さらに、「理系と文系の統合」を推し進めるために、工学的視点と社会への俯瞰的視野を兼ね備え、価値創造・ソリューション創出を行える人材の育成を目指す学群を新設する

# 高知工科大学データ&イノベーション学群

## AI・データサイエンス専攻/デジタルイノベーション専攻

### 基本情報

改組予定年度：令和6年度  
改組内容：学部の新設  
(当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの)  
設置等組織名：データ&イノベーション学群  
入学定員：【R6新設】60名  
所在地：高知県香美市土佐山田町、高知県高知市永国寺町

### 特筆すべき内容と評価された点

- 学外者も利用できる新棟の建設及び全体の約半数の教員が協同で教育研究活動を実施する体制を整備する点
- 女子学生に限定した学校推薦型選抜や女性エンジニア育成支援センターによる取組など、女子学生の確保についての取組

### 多様な入学者の確保に向けた取組

一般選抜に加えて、総合型選抜や女子学生に限定した学校推薦型選抜により6割程度の学生を確保する(1・2期生実績：女子率35%・県内生率35%)

### 教育体制や教育研究環境の整備(左下図参照)

県内の諸課題解決や地域イノベーション創出の一助を担う使命を果たすため、様々な学外者が利活用できる新棟を建設(今年度完成)

### 学修目標の具体化・体系的な教育カリキュラムの編成(右下図参照)

AI・データサイエンスを含む工学的視点と社会に対する俯瞰的な視野を武器に、既存システムやビジネスモデルにイノベーションをもたらし、次世代技術に基づいた社会を先導する人材を育成する



	データ系科目群	データ&イノベーション統合のための科目群	イノベーション系科目群
分類	AIデータサイエンス データエンジニアリング エン지니어リング リベラルアーツ	デジタルビジネス 事業創出 ビジネス リベラルアーツ	ビジネス基礎 ビジネス イノベーション
能力	機械学習 統計分析 ITアーキテクチャー セキュリティ ものづくり基礎理解	デザインシンキング 課題発見・分析 価値創造 人間関係の構築理解	経営・マーケティング 会計・金融
3年	情報リポート作成 AI応用演習 機械学習AI応用基礎実習 情報セキュリティ基礎実習	社会システムデザイン デジタルビジネス トランスフォーメーション 最先端の最先端産業-IP(Internet of Plants)-	プロジェクトマネジメント 行動経済学 経営戦略管理 経営情報論
	ネットワークシステムと セキュリティ 情報ネットワーク基礎	事業創出 起業特講 地域産業 起業特講 企業社会実習	ビジネス英語 AIマーケティング 企業価値評価論
2年	データ工学のための 数学2 人工知能と計算知識 統計モデル	地理システムデザイン IoT基礎 データサイエンスの基礎 データマニング データ工学のための 数学1 インフラネット システム	消費行動論 社会心理学 経営情報論
	データ工学のための 数学4 基礎数学	材料力学 力学	4年次科目 ■基礎 数学 科学の基礎 物理学基礎 ■2年次科目 情報ネットワーク基礎 会計学 最先端の技術産業基礎 工学概論 経営学 近代の科学
1年	情報科学3 データサイエンスの基礎1 情報科学2 情報科学1	ITビジネス マーケティング入門 英語基礎 英語基礎 英語基礎	English Project Reading / Listening イノベーションの基礎 経営心理学 経営学基礎 経営学基礎 経営学基礎
	データ工学のための 数学3 基礎数学	材料力学 力学	経営学基礎 経営学基礎 経営学基礎

### Project Based Learning (2025/5/10 キックオフ講演会を実施)

特徴 1	特徴 2	特徴 3	特徴 4	特徴 5
連携先の課題解決を支援することで、実社会のリアルが体験できる	データサイエンスや生成AIなどの最新技術を活用し、実践力が身につく	1年生後期～3年生の2年半かけて行う長期プログラムで、就職活動にも役立つ	学年縦割りのチーム構成(各学年2～3名)、先輩からの丁寧な指導を受けられる	高知市中心地に、来年4月完成する新キャンパスを中心とした活動
<b>授業の流れ</b>				
1年1学期	1年2学期	2年1学期	2年2学期～3年	
座学によるプレゼンテーション・ロジカルシンキング力などの実践力の習得	学内プレゼン、職業適性検査、リーダーシップ研修、1on1ミーティング、連携先からの課題提示	連携先への活動方針プレゼン、デジタル・AI技術などの習得	連携先課題解決に向けての、具体的な活動とその結果検証	

### PBL キックオフ講演会 プログラム

**13:00 開会挨拶** Kochi University of Technology School of Data & Innovation

**13:10-14:10 基調講演**

**激変する小売業界を生き抜く！  
ドン・キホーテのデータ・デジタル変革と地域の連携**

小林 真美氏 株式会社カイバラボ (PIPH グループ企業)  
データコラボレーション部長 兼 データ事業推進部長

伊藤 敦史氏 ドン・キホーテ高知店長

**14:20-15:10 PBL プロジェクトの内容説明 1**

チーム名	連携企業名	テーマ
ONUSUBI	株式会社四国銀行	地域資源を活かした未来創造プロジェクト
U-20	明徳義塾中学・高等学校	スポーツデータサイエンス
TNT	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	テレマティクスデータサイエンス
ving プロジェクト	公益財団法人国際開発基金財団 (FIDR)	国際協力
Citrus	日本マイソフト株式会社	様々な業種の人材育成

**15:20-16:10 PBL プロジェクトの内容説明 2**

チーム名	連携企業名	テーマ
Bonito	株式会社高知広告センター	データを活用したマーケティング
WANIC	和信建設株式会社	多様な職种にたなる住まいの構築とプロモーション戦略
こんぷ	西日本高速道路 エンジンエンジニアリング西国株式会社	インフラマネジメント
物三堂	高知立高知城歴史博物館	文化資産を活かした商店街活性化と博物館への人流創出
らいいんちーむ	協同組合事務科新	商店街活性化・人流データ活用

**16:20-17:15 学生との意見交換会** ⇒ A105 前ホールにて実施



<基本情報>

改組年度：令和6年度
改組内容：既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
設置等組織名：工学部応用化学生物学科
入学定員：【R6新設】145名
所在地：神奈川県厚木市

工学部 応用化学生物学科における教育と研究

化学・生物の知識と技術を身につけ、多様な問題を解決する応用力を備えた技術者や研究者の育成

学科のコンセプト, 学科の取り組み, カリキュラム体系, 学科の特徴. Includes a table for the curriculum system and a diagram for the interdisciplinary approach.

応用化学コース・応用バイオコース・生命科学コース

グリーン化及びデータサイエンス化のメガトレンドを踏まえた教育・人材育成を背景に、幅広い視野を持ち社会に貢献できる技術やものを創生する力を身につける

特徴ある教育の取り組み

Four circular icons representing: 1. 初年次初頭期教育 (1st year initial education), 2. 学部学科横断型 (Interdisciplinary), 3. 学部学科横断型 (理工系女性教育プログラム) (Interdisciplinary for women), 4. データサイエンス (Data Science).

大学で学ぶための学び
1年次4月初頭の集中授業で、ICTスキルの習得、大学での学び方・社会人基礎力・専門分野の動機付け、理数系科目の補完学修の実施

グリーンTRANSフォーメーション教育

脱炭素・カーボンニュートラル・新エネルギーを学ぶ4年間一貫教育プログラム
・Stop the CO2 教育プログラム(1~3年)



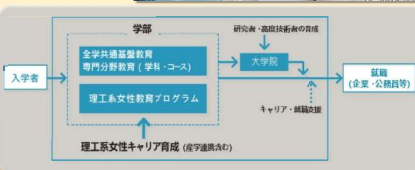
理工系女性のための学び

リーダーシップを取り産業や技術社会を牽引する理系女性を育成するための実践的な女性教育プログラム
・理工系女性教育プログラム(1~3年)



ICTスキルの学び

ICT・AIの技術産業で理工系技術者として活躍するための力や倫理観を養う教育プログラム



- ・データサイエンスAIリテラシー教育プログラム
・データサイエンスAI応用基礎教育プログラム

高大・企業・自治体連携、女子学生確保に向けた取り組み



女子学生確保に向けた取り組み

Flowchart of the recruitment process: Interest phase (NPO, companies) -> Selection phase (University, local government) -> Growth phase (University) -> Dissemination phase (Companies). Includes details on the selection process and support programs.

高大連携・企業連携・大学連携の取り組み

- ・連携協定校(40校以上)の校長との懇談会及び機能強化の検討会の実施
・「探求型学習」教育への教育支援及び教材・実験キットの制作と提供
・理工系女性教育プログラム科目と中高教育への連携、協働授業の実施

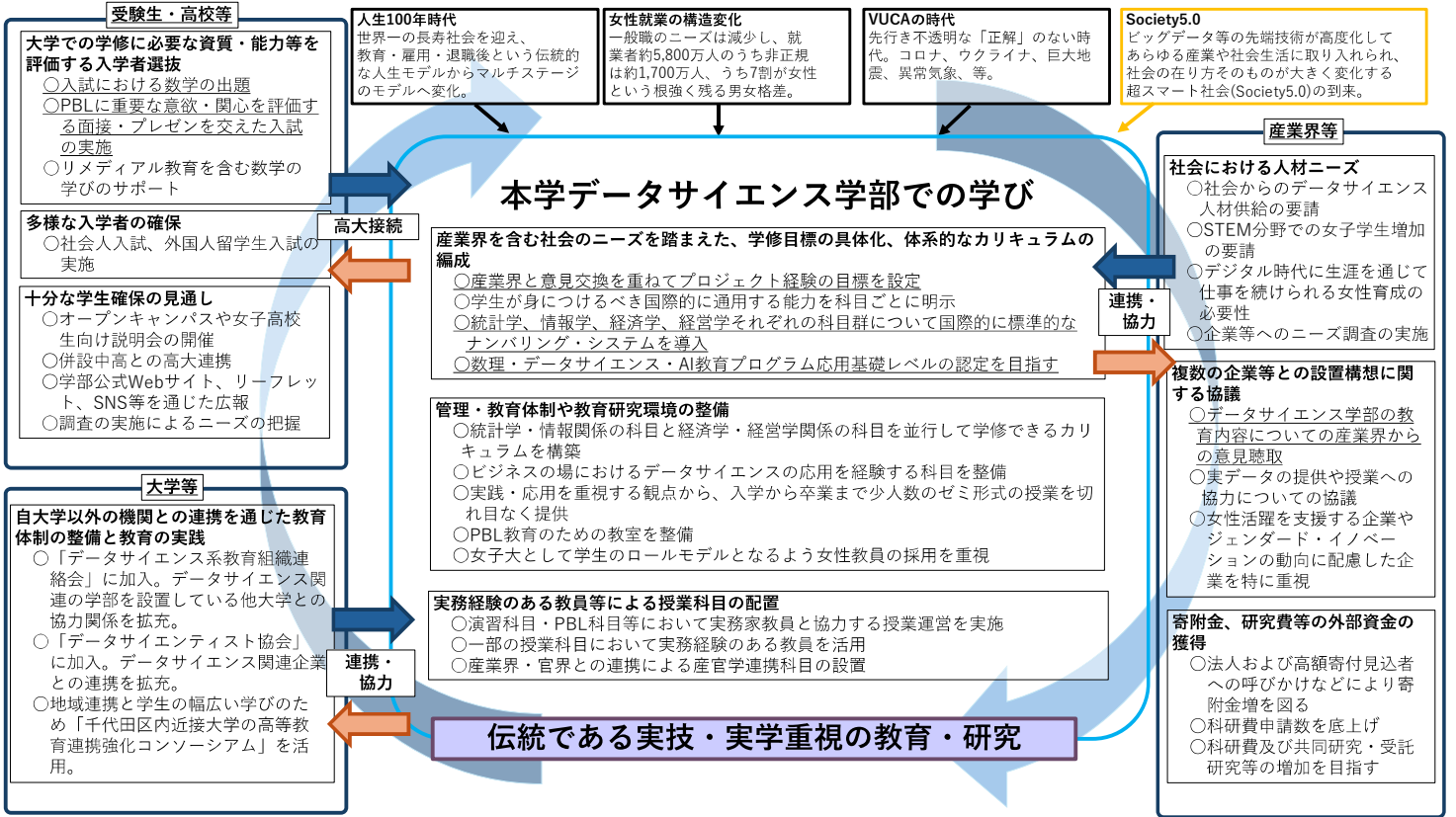


<基本情報>

改組年度：令和7年度  
 改組内容：学部の新設  
 設置等組織名：データサイエンス学部データサイエンス学科  
 入学定員：【R7新設】90名  
 所在地：東京都千代田区

<特徴・コンセプト等>

本学は実技・実学重視の教育・研究を追求してきたが、デジタル社会の読み・書き・そろばんとも言われるデータサイエンスとビジネス（経済・経営）の学びを通して、学び働き続けることができる自立した女性を育成し、また、近年急激に増加しているデジタル人材需要等の社会からの要請に応える。



**【A:連携を通じた教育体制の整備と実施】**

企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施

企業等と連携した科目は主に2科目整備し、実施する。初年次に導入を始めた「実務から学ぶデータサイエンス」では、種々の業種の企業、官公庁、地方自治体から実務家を授業にゲストスピーカーとして招いている。学生は社会課題の設定や解決におけるデータの収集、整理、分析、活用について学ぶことで、データサイエンスの学びを身近なものとする。3年次には産業界・官界との連携による産官学連携科目「協働連携プロジェクト」を設置する。学生は、企業等の課題をデータに基づき設定し、グループ単位で主体的にプロジェクトへ参加し、データ分析力・応用力だけでなく、チームワーク、プレゼンテーション力、リーダーシップも身に付け、社会人と触れ合う場を持つ。今年度においては、産官学が連携した学部開設シンポジウムを学生も参加して開催した他、産学連携推進会議を設け学部内の体制を整備するとともに、学外有識者から成るアドバイザー・ボードを設置した。

また、以下の企業等との連携・協力体制を整備した。

- 連携・協力予定機関一覧**
- NTT東日本
  - JR東日本
  - 千代田区
  - 流通経済研究所
  - QUICK
  - 気象庁
  - SOMPOホールディングス
  - TOPPANデジタル
  - ビデオリサーチ
  - CCCMKホールディングス
- など

**【B:多様な入学者の確保に向けた取組】**

入学者選抜における科目の見直し

データサイエンス学修に必要な基礎学力を求めるため、一般選抜の個別学力試験で2月1日は数学を必須とし、2月2日でも選択科目に含めた出題としている。今年度導入した総合型選抜（基礎能力型）の入試でも数学を必須とした。また、総合型選抜（自己推薦型）は、面接の中で口頭試問およびプレゼンテーション、学校推薦型選抜は、面接の中で口頭試問を実施している。

なお、「数学」を選択しなかった入学者においては、入学前教育や入学後のリメディアル科目「基礎数学」の履修を進めるとともに、関連分野を専攻する大学院生に質問できる「数学カフェ」を開催するなど、全学生が同じレベルで数理・統計分野科目を受講できるようにしている。

また、データサイエンス学修に必須のPBLに重要な意欲・関心を評価する面接・プレゼンを交えた多様な入試については、総合型選抜で実施し、よりデータサイエンス学部のアドミッション・ポリシーに合致する学生の確保に努めている。

女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組

データサイエンス学部の認知度向上のために、学部公式Webサイトを開設し、教員紹介、教育の特色の説明に加え、実社会で活躍しているデータサイエンスを学んだ女性からのコメントのほか、文系の高校生にもデータサイエンスに興味を持ってもらうための動画も公開し、広く周知した。併せ、女子高校生に親しみの持てる内容をSNSで発信するとともに、科目紹介を含む紙媒体のリーフレットも作成し配布している。

高校進学相談会では、高校生へのガイダンスだけではなく、高校教員にデータサイエンス学部の説明を行い理解を求めた。

また、年間を通じて、首都圏を中心にDXハイスクールを含む高校を訪問した。更に、付属校との高大連携、高校の要望に沿った出張講義を行った他、女子高校生に向けてデータサイエンス分野への関心を喚起するイベントを実施した。